

チェックリストによる河川事業の再評価項目

ダム名	石木ダム	事業名	川棚川河川 総合開発事業	事業区間	重力式コンクリートダム (ダム高H=55.4m、堤頂長L=234.0m)
再評価の実施理由		社会経済情勢の変化(工期の変更)			
未着工或は事業が長期化している理由		用地買収未完了のため			
事業内容	事業目的	洪水に対してダムにより洪水調節を行い、河川の氾濫を軽減する。			
	事業実施内容	ダム建設、付替道路			
	上位計画における位置づけ	川棚川水系河川整備計画			
	目標流量(山道橋地点)	1,130m <sup>3</sup> /s	治水安全度		1/100年
事業の進捗状況	事業採択年	昭和48年度	用地着手年	平成9年度	工事着手年 平成21年度
	全体事業費 (内用地費)	285億円 (115億円)	投資事業費 (内用地費)	158億円(進捗率55.4%) 108億円(進捗率93.9%)	
	事業進捗状況	現時点で用地及び補償契約が約8割完了し、付替道路工事に平成21年1月に着手し中断していたが、平成27年6月から再開している。 買収面積(m <sup>2</sup> )81.1%、移転家屋(戸)80.6%、地権者数(世帯)86.8%			
	一連の整備効果の発現状況	事業完了後に効果を発現する			
事業を巡る社会情勢等の変化	現状での課題	早期完成(平成34年度完成予定)を目指している			
	災害発生時影響(想定氾濫区域内)				
	① 浸水戸数	: 1,466戸(浸水想定区域面積129ha)			
	② 農地浸水面積	: 8.4ha			
	③ 重要な公共施設等	: JR、国道、県道、町道、バスセンター、川棚郵便局、川棚町役場			
	④ 災害弱者関連施設	: 保育園、幼稚園、学童、デイサービスセンター、グループホーム			
	⑤ その他	: 佐世保市取水施設、川棚町上水道			
	過去の災害実績				
	① 主な災害年	: 昭和23年、平成2年			
	② 浸水戸数	: 昭和23年: 床上800戸、床下1,200戸、平成2年: 床上97戸、床下287戸			
③ 農地浸水面積	: 昭和23年: 125ha、平成2年: 74ha				
④ 重要な公共施設等	: JR、国道、県道、町道、バスセンター、川棚郵便局、川棚町役場等				
⑤ 災害弱者関連施設	: 保育園、幼稚園、学童、デイサービスセンター、グループホーム				
⑥ その他	: 佐世保市取水施設、川棚町上水道				
災害発生危険度					
① 改修目標流量に対する現況流下能力の割合	: 90%程度 現況1,020m <sup>3</sup> /s÷計画1,130m <sup>3</sup> /s				
② 現況の治水安全度	: 1/50 相当				
地域の状況	① 地域開発の状況	: 採石場による開発が行われている。			
	② 地域の協力体制	: 県議会、町議会、市議会が建設促進の決議を行っている。			
	③ 関連事業との整合性の変化	: 佐世保市水道施設整備事業及び、県道嬉野川棚線改良事業と整合を図りながら整備を実施する。			
	④ 地域の事業に対する社会的評価	: 洪水氾濫被害及び濁水被害に対する安全度の確保のため、事業の早期完成が望まれている。			
	⑤ 事業の状況	: 付替道路工事に着手するなど、進捗は図られている。			
費用対効果分析	治水経済調査マニュアル(案)改定(平成17年4月)に基づき分析				
	総便益(B):	34,197百万円			
	総費用(C):	27,270百万円			
	B/C=	1.25			
再評価による今後の対応方針		事業継続			

# 川棚川総合開発事業「石木ダム」について

## 第2回長崎県公共事業評価監視委員会資料

平成27年8月

長崎県 土木部 河川課

1

### <目次>

1.	石木ダム事業の再評価の審議経過	… …	P 2
2.	石木ダム事業の概要	… …	P 4
3.	事業の主な経緯	… …	P11
4.	第三者機関の設置経緯と説明会	… …	P13
5.	佐世保市水道施設整備事業再評価<報告>	… …	P17
6.	工事の状況	… …	P25
7.	用地取得の状況	… …	P27
8.	工期の変更	… …	P29
9.	治水計画	… …	P30
10.	費用対効果分析(B/C)	… …	P43
11.	治水代替案の比較	… …	P47
12.	流水の正常な機能の維持	… …	P67
13.	対応方針(原案)	… …	P77

2



# 1. 再評価の審議経過

河川-1 川棚川河川総合開発事業の経緯

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	概要
		着工	完了			
当初(H10新規評価)	10年間継続	S48	H20	160.0	1.98	複合ダム(重力式コンクリートダム・ロックフィル) ダム高H=58.5m V=229,000m <sup>3</sup>
佐世保市再評価(H11)						計画取水量6万m <sup>3</sup> /日
第1回審議(H15)	再評価後5年経過	S48	H20	297.0	1.18	複合ダム(重力式コンクリートダム・ロックフィル) ダム高H=58.5m V=229,000m <sup>3</sup>
佐世保市再評価(H16)	再評価後5年経過					計画取水量を4万m <sup>3</sup> /日に見直し
第2回審議(H16)	事業の経過報告 「ダム規模の見直しを行い、平成17年度に再審議」					
第3回審議(H17)	事業の経過報告 「河川整備計画検討委員会途中経過報告」					
第4回審議(H18)	事業の経過報告 「河川整備計画検討委員会経過報告」					
第5回審議(H19)	川棚川水系河川整備計画同意の報告	S48	H28	285.0	1.43	重力式コンクリートダム ダム高H=55.4m 堤頂長L=440.0m
佐世保市再評価(H19)	社会経済情勢の急激な変化					計画取水量を4万m <sup>3</sup> /日に変更、目標年度H29
事業認定申請(H21.11.9)						
第6回審議(H23)	社会経済情勢の変化	S48	H28	285.0	1.27	重力式コンクリートダム ダム高H=55.4m 堤頂長L=234.0m
ダム事業の検証(H24.6.11)						
佐世保市再評価(H25.3.15)	着工前評価					目標年度H36
事業認定告示(H25.9.6)						
第7回審議(H27:今回)	社会経済情勢の変化(工期変更)	S48	H34	285.0	1.25	重力式コンクリートダム ダム高H=55.4m 堤頂長L=234.0m

# 2. 石木ダムの事業概要<位置図>





## 2. 石木ダム事業概要 <川棚川の流域>



5

## 2. 石木ダム事業概要 <石木ダムの位置>



6



## 2. 石木ダム事業概要<目的・進捗状況>

### ○石木ダムの目的

#### ① 洪水調節

川棚川の治水基準点である山道橋地点において、基本高水流量 1,400m<sup>3</sup>/sを既設野々川ダムと石木ダムで1,130m<sup>3</sup>/sに調節するため、石木ダムでは治水容量 1,950,000m<sup>3</sup>を確保する。

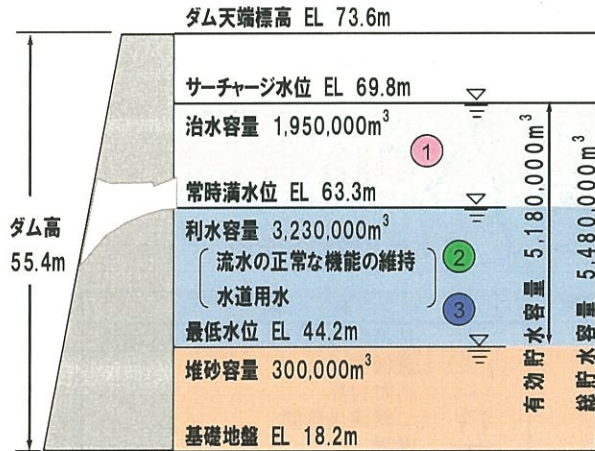
#### ② 流水の正常な機能の維持

現在使用している水道用水1日当たり22,500m<sup>3</sup>（うち佐世保市 15,000m<sup>3</sup>、川棚町7500m<sup>3</sup>）、ダム下流の農業用水、河川環境を維持するための水源として、不特定容量 740,000m<sup>3</sup>を確保する。

#### ③ 水道用水の供給

佐世保市の水道用水1日当たり40,000m<sup>3</sup>を確保するための水源として、新規利水容量2,490,000m<sup>3</sup>を確保する。

### ○貯水池容量配分図



### ○事業費

総事業費：285億円

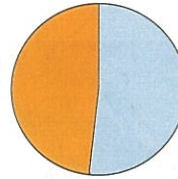
負担額：治水約185億円（1/2国土交通省補助）  
利水約100億円（1/3厚生労働省補助）

平成26年度の事業費：15.0億円

平成27年度の事業費：9.3億円

### ○事業の進捗状況

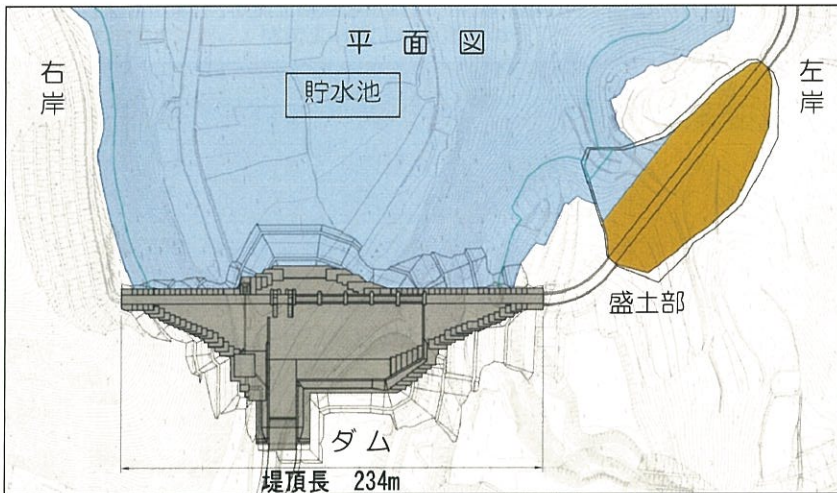
残事業費  
約127億円



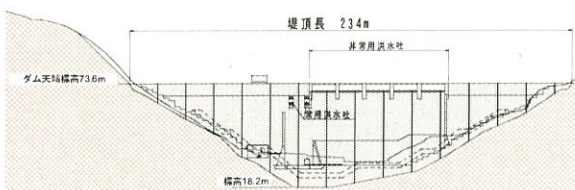
7

## 2. 石木ダム事業概要<ダムの構造>

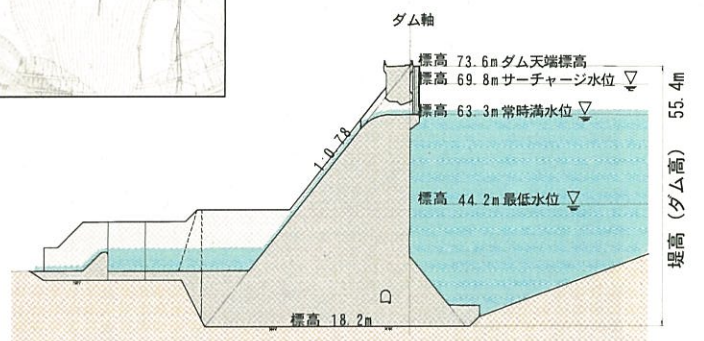
●518万トンの水を貯めるために、高さ55.4m、長さ234mのダムを建設します。



河川名	2級河川 川棚川水系石木川
位置	長崎県東彼杵郡川棚町若屋郷地先
型式	重力式コンクリートダム
総貯水容量	5,480,000m <sup>3</sup>
有効貯水容量	5,180,000m <sup>3</sup>
堤高	55.4m
堤頂長	234.0m
事業費	285億円



下流面図



標準断面図

8



## 2. 石木ダム事業概要<付替道路工事>

### ○付替道路工事の目的

ダム建設により現況の県道嬉野川棚線、町道中ノ川内線、町道岩屋線などの一部区間が水没するため、道路の付替を行います。

### ○石木ダムの付替道路計画

県道1路線、町道4路線、農道1路線の合計6路線、約7km



9

## 2. 石木ダム事業概要<石木ダム及び貯水池>



10